

地図帳から国や都道府県の概要を学ぶ

～「さまざまな地域の調査－世界の国々を調べよう」でのとりくみ～

佐賀県東与賀町立東与賀中学校 原 直樹

1 はじめに

「世界の国々」では「地理的事象を追究し、地域的特色をとらえさせる」「国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身につけさせる」ことを目標とする。単元構成では国の特色をとらえさせるための様々な工夫が必要である。また、地図を活用する視点や地図・地図帳を見て調べていこうとする意欲を育てていくことが求められる。

国家規模の地域的特色を追究する際には資料の収集・選択がポイントとなるが、統計資料、地図、衛星写真、地図帳の地勢図・主題図など地図帳を活用しての学習を行った。使用した地図帳は帝国書院版『中学校社会科地図（最新版）』（以下、地図帳）である。

「世界の国々」では教科書（帝国書院版）に準拠し中国・アメリカ合衆国・ドイツを選択した。指導にあたってはそれぞれ国のアプローチを経済を軸に考えた。授業では生徒が取り組みやすいように切り口を設定し、学習活動を進めた。

	経済軸	切り口	学習活動
中国	経済成長が著しい世界の工場	中国身近博物館・身近にある外国製品を使う	地図帳をつかって ・地図化 ・表づくり
アメリカ	政治・経済の超大国	世界一の国とは？ ・国として世界一の条件・資格を考える	シミュレーション ・首都の位置、工業分布など世界一にするために架空の国をつくる
ドイツ	経済発展を超越して環境への取り組みを進める	日本との比較 国際河川・EU・ヨーロッパ統合の動き	インターネットをつかいフライブルグ市のようなすから環境問題への取り組みについて調査

2 国を調べる視点を身近なものから

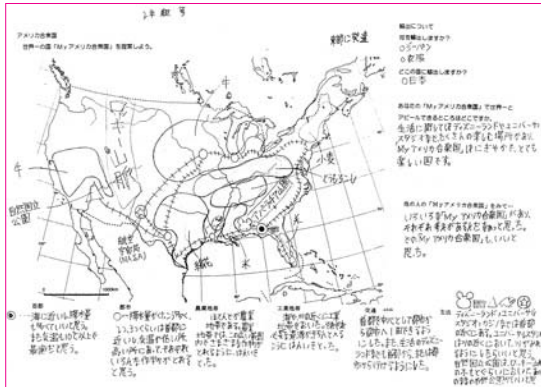
「中国」では国を調べることの関心・意欲を掘り起こすためにまず身近にある外国（中国）製品に目を向けさせた。自分の中にある中国を取りださせ、中国で知っていることを分類、整理させていく。生徒は家からさまざまなものを持ってきた。中国旅行のみやげ、中国の通貨、ぬいぐるみや衣類、キーホルダー、スポーツ用品、おもちゃなどである。得意そうに説明をするものもいれば、人気のキャラクター商品が中国でつくられたことに意外であるという感想を述べるものもいた。

そして人口と地形の関係や産業（特に生産）の成り立ちについて基礎的なものをおさえ、地理的な見方や考え方を養うことを意図した。たとえば、農産物ではその農産物に適した気候、降水量、つくりかた、つくるのに必要なもの、食べ方（利用のされ方）、耕作地域についてそれぞれ学習する。その際には地図帳p.10「世界各地の食事」から調べる。ここは指導者の説明が多くなるが、国をとらえる基礎的な事項なのでていねいに表にまとめさせた。



帝国書院『中学校社会科地図（最新版）』p.10

アメリカ合衆国を比べさせ、違っていたところをあげたり、なぜ違っていたのかを比較し、その理由を考えさせる。ここでアメリカ合衆国の地図を見て、その立地条件や分布を自分のものと比較するなかで地図の上で「なぜそこにそのようなものがあるのか(広がっているのか)」という地理的な見方・考え方を得ていく。



最後にアメリカの農業と工業の概要をまとめ、これが超大国「アメリカ合衆国」として地図化する。ここでは地図帳p.41「アメリカ合衆国」を利用する。土地利用や植生を含めて読み取らせることとなり生徒はここで総まとめをする。

アメリカ合衆国
-「Myアメリカ合衆国」をテーマにした学習活動の成果発表の成果発表の成果発表-

	首都	農業	交通	生活	工業	都市
My アメリカ 合衆国	海に近い場所 も多くなっている。 農業、また工業も 10以上の都市 が集中している。	ほとんどの農業 地帯に集中している。 農業地帯は、 穀物や大豆、 肉用牛や乳牛 の生産が主である。 また、果物の生産 も盛んに行われている。	首都を中心とした 道路網が非常に 発達している。 また、主要な交通 手段として、 航空機や列車、 トラックが利用 されている。	生活水準は高く、 教育や医療に 多くの投資が 行われている。 また、多様な 文化や言語が 存在している。	自動車産業が 非常に盛んで、 多くの自動車 が生産されている。 また、航空機 や宇宙産業も 発達している。	様々な産業が 集中している。 特に、金融業 やテクノロジー 産業が盛んで、 多くの企業が 拠点を置いている。
現実	予想していたよりも 都市が集中している。 また、農業も 10以上の都市 が集中している。 また、果物の生産 も盛んに行われている。	農業地帯は、 穀物や大豆、 肉用牛や乳牛 の生産が主である。 また、果物の生産 も盛んに行われている。	首都を中心とした 道路網が非常に 発達している。 また、主要な交通 手段として、 航空機や列車、 トラックが利用 されている。	生活水準は高く、 教育や医療に 多くの投資が 行われている。 また、多様な 文化や言語が 存在している。	自動車産業が 非常に盛んで、 多くの自動車 が生産されている。 また、航空機 や宇宙産業も 発達している。	様々な産業が 集中している。 特に、金融業 やテクノロジー 産業が盛んで、 多くの企業が 拠点を置いている。
なぜ 違ったのか	予想していたよりも 都市が集中している。 また、農業も 10以上の都市 が集中している。 また、果物の生産 も盛んに行われている。	農業地帯は、 穀物や大豆、 肉用牛や乳牛 の生産が主である。 また、果物の生産 も盛んに行われている。	首都を中心とした 道路網が非常に 発達している。 また、主要な交通 手段として、 航空機や列車、 トラックが利用 されている。	生活水準は高く、 教育や医療に 多くの投資が 行われている。 また、多様な 文化や言語が 存在している。	自動車産業が 非常に盛んで、 多くの自動車 が生産されている。 また、航空機 や宇宙産業も 発達している。	様々な産業が 集中している。 特に、金融業 やテクノロジー 産業が盛んで、 多くの企業が 拠点を置いている。

その後ドイツは日本との比較を切り口にして環境問題への取り組みを中心に調べ学習を進めた。環境問題の裏にある工業の発達や国際河川(ライン川)からもドイツの特色が浮き彫りなるように

試みた。その際に国際河川(ライン川・ドナウ川)をたどらせて川が通る国を確認させることや交通路などを確認させ地域統合の動きをおさえる。環境問題への取り組みでは地図帳p.32ヨーロッパの工業「ドイツ車のリサイクル」の資料に加えて、インターネットのHPを中心にフライブルグ市の資料を取り扱う。ここでは詳細は省く。

4 まとめ

さまざまな地理的事象を多角的・多面的に考察させるためには立地条件や分布を予想させ、考えさせることである。この活動を通して生徒は意欲的に地図や統計資料を読み取る学習を進めることができた。首都をどこに置くかについて既存の知識(東京は海辺で日本のほぼ中心に位置する)をつかうことや地形・気候・資源の産出地などをつかんでおくことが国の構成を考える上で重要な視点であることを生徒は意識できたと思う。たとえば、はじめに地形をつかむことは(ロッキー山脈の位置)はさまざまな立地・分布条件を考える上で(アメリカ合衆国において)基準となるからである(ロッキー山脈上に首都や都市は発達しない、工業・農業にも適当でない地域である)。このように考える土台となるもの~何が基礎なのかについても意識させて学習させることができた。

「国家規模の地域の学習」では国々の経済発展を授業構成の軸にすえ、ある地域の学習をもとに次にさらに視点を変え、前に培った視点をもとに発展させた学習を進めた。単発的な調べ学習から筋の通った授業構成をすることができた。

また、シミュレーションをしているときに「地図を見たい」衝動を抑えて作業を進め、その答えをじっくり生徒が確かめるとき、地図帳に食い入るような生徒の目があった。このような学習は地図を見る視点の大切さをつかませ、地図帳の活用についてその意欲をかき立てる有効な一つの方法ではないだろうか。